



みさと雑学大学



2016 9月 講座 (第129回)

「二郷半領石造物こぼれ話」 —地元石工編—

○江戸中期から石工 (いしく) を生業 (なりわい) とした戸ヶ崎石工・林幸右衛門の作品の紹介を通じて当時の二郷半領の信仰・文化他地域との交流 (舟運) について語ります。

○併せて石工 林幸右衛門の新発見の作品 (「石造鳥居」「六字名号塔」) も初披露します。

○また二郷半領の歴史と下総国との関わり合いについても言及したいです。(『葦のみち 26 号』お持ちの方は持参下さい)

市民教授 紹介

小林 将氏

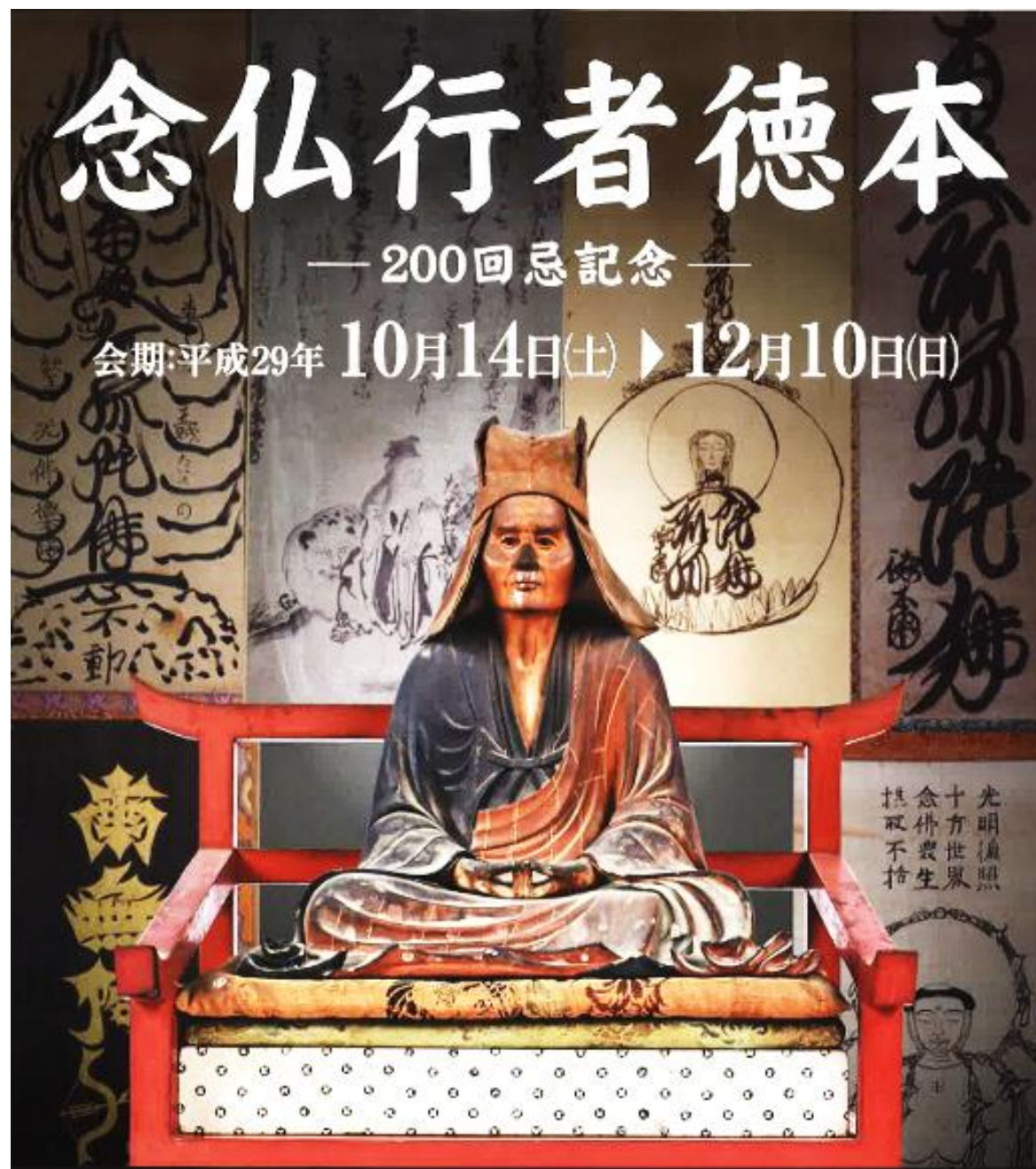


プロフィール

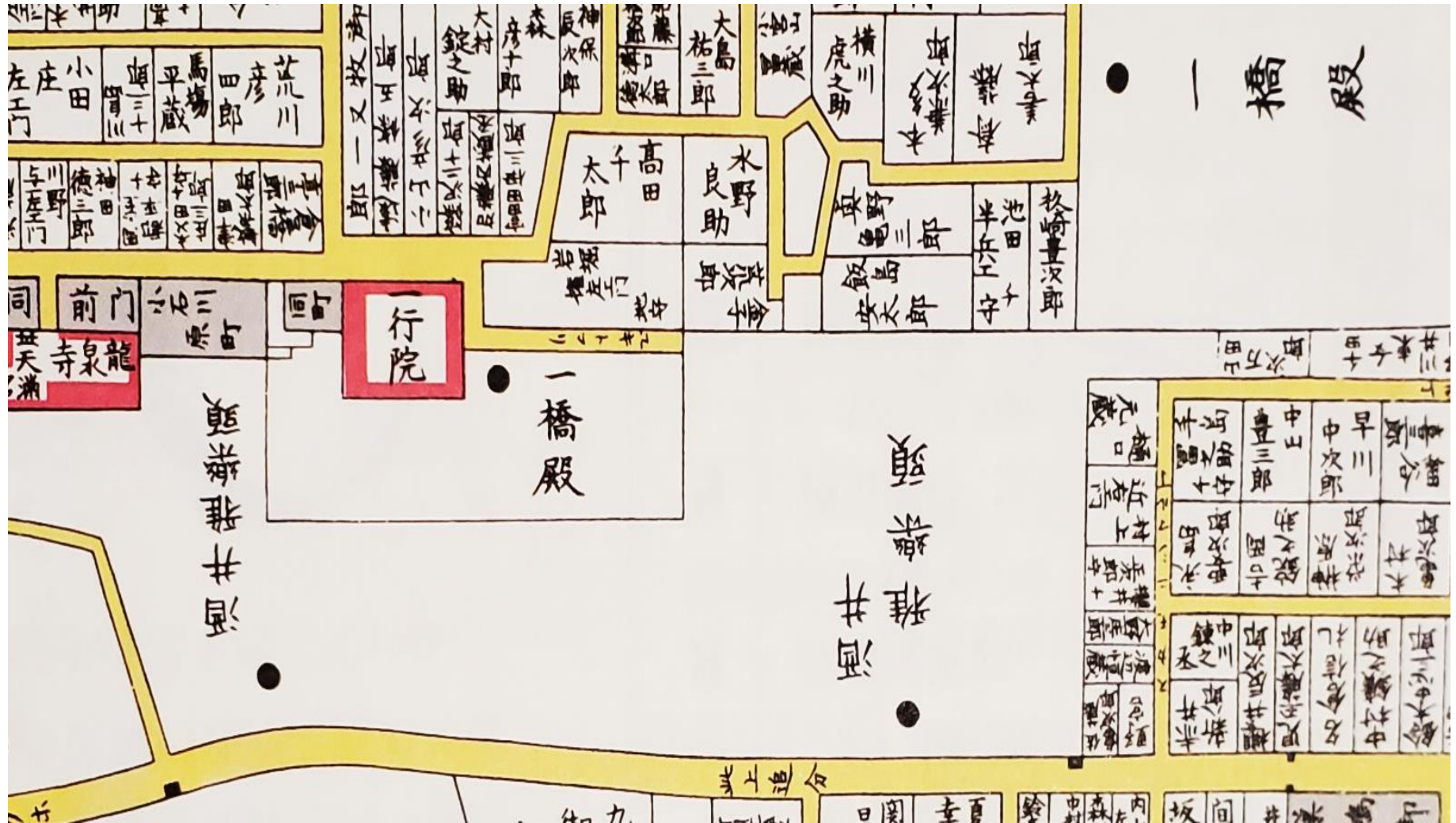
- ・昭和 34 年生まれ、56 歳。新潟県長岡市の出身。
- ・もと銀行員で全国を転勤する。平成 23 年 3 月、51 歳で退職後、本格的に「地域史の研究」を始める。テーマは「江戸時代の石工職人と石造物」。
- ・平成 25 年から『三郷市史研究 葦のみち』に掲載中 (船橋市在住)

日 時 9 月 17 日 (土) 午前 10 時～12 時。

★徳本上人200回忌



★小石川原町 一行院



★戸田市 指定文化財 （総高 2 メートル）



★さいたま市 指定文化財 （総高 3 メートル）



★川口市戸塚 （総高 3 メートル）



★越ヶ谷市 （総高 2 メートル）



★三郷市 谷口（総高 2.5 メートル）



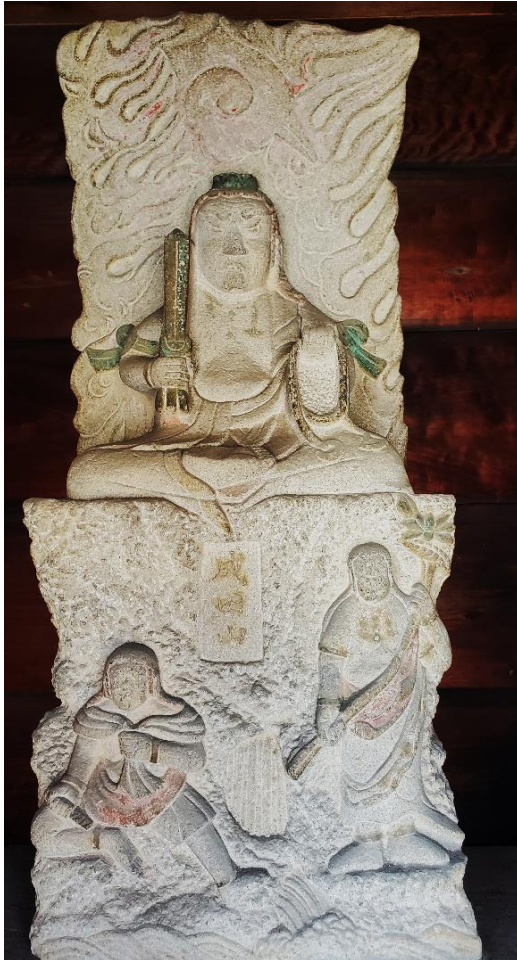
＜正面 南無阿弥陀仏＞



＜徳本花押＞



★越谷市 不動明王像



★三郷市 不動明王像

